
 もう12月、2013年はあつと言う間の一年でした。
 今年は寒くなるのが遅く、カシミア屋はやきもきしました。

 やつと冬型の気圧配置になり、関東は空気が澄んで富士山が見えるようになりました。
 。

アベノミクスで景気が少し上向きになった気がします。
 当社にまではまだですが、皆さんのところはいいかがでしょうか？
 カシミアのUTOとしては、今年の冬は寒さが厳しいという予報があり期待大です。

恒例の流行語大賞が発表され、『おもてなし』『じえい』『倍返し』『今でしょ』でした。

この4つが本命と思いつつ、どれだろうと考えてたのに、4つは肩透かしでしょ！

*** こんにちは 藤谷です ***

冬が来ましたね。皆さまいかがお過ごしでしょうか？冷える朝は本当に辛いですが、私は冬が好きです。テレビに冬のCMが流れますと本当に嬉しくなります。日々追われて季節を楽しむことも忘れてしましますが、ちゃんと楽しみたいと思います。

さて、冬はカシミア最盛期です。スタッフ一同待ちどうおしかった最高の季節です。ショールームには、お客様が入れ替わりたちかわり、よくいらつしやいます。皆さん、この季節に間に合うように希望されますので、工場はフル稼働の大忙しです。

最近では、インターネットの楽天サイトを見て頂いたお客様が実際の色やサイズを確認にいらつしやいます。やはりパソコンの画面だと色味が伝わりづらいですよね。電話口で色のイメージを伝えあうこともあります。

その時は、黄色は黄色でも『小学生の体育帽の黄色』など、お客様の方から色々な表現が出て来てこちらも楽しくさせてもらっています。インターネットを介したお客様ともコミュニケーションがとれると嬉しく思います。インターネット販売という味気なく感じられるかもしれませんが、実際には中で私達少数のスタッフが作業をしておりまして、一人ひとりのお客様に発送する際はやはりお客様を身近に感じます。〇〇様また買ってください



ヤマトシジミ

れたね。次はこの色かあ。なんて話をしながら作業しています。ネットショップは私も利用することがありますが、注文した商品が家に届くというのはまだ違った楽しみですよ。皆さま、この冬が素敵でありますように。

斜めストール マフラー

No. 2312-3055 ¥18,900 - (税込価格)



カシミア100% 20色展開 約170cmx50cm
 端が斜めのためにきれいなウェーブがお洒落です。
 きれいな斜めのラインを出すのに苦労しました。

UTO レディス Vネックロングカーディガン

No. LUAC-7093 ¥71,400 - (税込価格)



カシミア100% 4色展開 ・フリーサイズ
 染めていない天然色のままの糸を使用。
 ブラウン、ホワイトとそれらを組み合わせたブラウン系、ホワイト系があります。美しい色味と極上の柔らかさで、気持ち良く着て頂けます。

UTO メンズ ショールカラーリブ袖カーディガン

No. MUAC-5137 ¥94,500 - (税込価格)



カシミア100% オーダーメイド
 UTOで定番人気の製品です。
 存在感のあるアイテムですので、これがあれば着こなしが決まります。
 オーダーについて詳しくはお気軽にお問い合わせください。

【青山・表参道境界】 UTOはこんな街から発信しています

10周年の六本木ヒルズ
 美しいビル群の激動の10年

UTUは南青山骨董通りのビルの10階。上がって来て、想わぬ景色に、いらつしやったほどの方がほめてくださいます。
 南側の窓からまず目に飛び込んでくるのが巨大な丸い煙突のような六本木ヒルズです。その右側に東京タワーも見えます。
 夜になるとヒルズの白い窓明かりと東京タワーのオレンジや赤に演出された光がとってもきれいです。左に目を移すとミッドタウンがそびえ、日没の早い冬の頃は5時過ぎにはすばらしい夜景が連日望めます。

今回の六本木ヒルズ。早いものでは今年で10周年だそうです。何かにつけてニュースにもなるビルですね。
 ヒルズといえば私は『IT』という言葉がまず頭に浮かびます。オープン当初はヤフー、ライフドア、楽天などのIT企業の勝ち組のオフィスがあり、そのオーナーが住んでいてヒルズ族と呼ばれる脚光を浴びました。しかしその後、ホリエモン、ライフドアや、村上ファンド、グッドウィル、リーマンブラザーなど悪い話題が続き、回転下

アでの死亡事故などが起きてしまいいメージがダウンしてしまいました。今ではヤフーはミッドタウンへ、楽天は自社ビルに移ってしまい、現在はグーグルジャパンが一番の話題企業でしょう。

ひところの飛ぶ鳥を落とす勢いはなくなった感がありますが、ここら辺はヒルズが出来た前はテレビ朝日があるぐらいの雑然とした処でした。
 住民の生活に直結する街の再開は、中国の様な一党独裁や封建社会の様に強権でないと、住んでいる人たちの合意をとるという民主主義的方法では絶対に無理だと思いが、700世帯もある人達を17年もかけて合意を取り、再開した森ビルは凄いと見えます。
 消防車や救急車も入らないような古い街を、安全で住みやすい街に作り変えることを森ビルの人たちに託したらきつと良い街を作ってくれるんだらうと思地は僕だけでいいでしょうか？

日本は、土地開発Ⅱ地上げという苦い経験をしているだけに日本では難しいんですね。
 その後、3・11の大震災のときには自社ビル内に発電所などの設備が完備して、安全なビルとの評価が高く再評価されています。

ここら辺で広い敷地はほとんど江戸時代の大名屋敷跡。ここは長府藩の上屋敷跡。長府藩は毛利家の分家で領地は下関だそうです。ちなみに近くのミッドタウンは本家の毛利長州藩の中屋敷。奇遇でしょうか？
 司馬遼太郎の坂の上の雲、日露戦争の203高地の指揮で有名な乃木希典はここで生まれたそうです。

ヒルズでもっとも好きなのは毛利庭園です。こんな都心で緑が多く四季を感じることができて自由に出入りできるのは都会の宝だと思います。TV朝日の報道ステーションではお天気お姉さんがここを背景にしていますがホッとします。
 次の10年はどんなニュースを提供してくれるのでしょうか楽しみです。



*カシミヤとニットの話 (四十五)

スロントリーングストール誕生

端が斜めになった素敵なストールを作りたい！
世界にありそうで無い！

ニットの端を斜めにするにはどうしたらいいか？

カットするしかない、

カットしたらニットだからほつれてくる。
ほつれないためには、折りまげてまつるか、何かをつけるか

折ったり、付いたらポテットして美的ではない

どうしよう？ 方法は？

ある日、ひよっと思いつく！

昔、英国製のニットは斜向して困ったことを

あの斜向を利用できないだろうか？

なぜ、あの英国製のニットは斜向したのか？

それは単糸を使っていたから。(業界用語)

単糸で編んだら、ひよっとしたら斜めになるかも？

単糸は日本にあるのか？

紡績屋さんに双糸加工する前の糸があるはず

果たしてその単糸で編めるのか？

電話で手横の職人さんに聞く

当然、難しいよ！ 一番手違いで糸が弱いから切れるよ！

糸を持って職人さんを訪ねて頼み込む・何とか編めないですか？

来られたら無下には断糸を触って・ひよっとしたら編めるかも？

とにかく編んでみてもらう

最初は恐る恐る、手加減しながら・編む

オオー！編めるよ！ 凄い！（嬉しい）

仕上げしてもらって完成！！ ヤッター！

職人さんが一枚一枚編んだら高額品だ！

多分4万円〜5万円

何とか量産して安く出来ないだろうか？

岩手工場に依頼・何とか機械で編んで安くしたい

そんなに細い番手違いの糸は、手横では編めても機械は引きが強いので難しいと思う

でもやって見ます！

従来の2台の編み機ではダメ、でも・・・、新しく導入した編み機なら編めます！

編めても端が斜めなので仕上げが大変！

盛岡市・矢羽々さんの、フランス語の斜めから取った、スロントリーングストールに決定！

愛称を！

北上市役所に相談し、北上市民と岩手県民のみなさんから応募



忙中暇話・ニットのたわごと

地球温暖化の証：
いはいの蝶が飛んでいる



この通信の挿絵が蝶なのはなぜ？という質問を何人かの方が頂いた事があります。ごもっともです。2001年からこのニット便りを始めた時は花を描いて挿絵にしました。でも素人の悲しさ、だんだん回が進むと描ける花が無くなってきたので2006年から得意な蝶の画にすることにしました。その後は不精にも写真になってしまいました。

小学校の2年の頃から蝶を追いかける昆虫少年で、将来は蝶博士が夢でした。蝶博士は諦めましたが、就職しても続けていて日本はもちろん、旅行屋の利を生かして、タイ、シンガポール、マレーシア等の東南アジアをはじめ、アフリカに行ったときもしっかり補中網を持っていきましました。ニット屋になってから長らくお休み。老後には蝶に戻りたいですね。

この蝶はナガサキアゲハといいますが、後ろ翅に白い紋が並んでいるので、♀とわかります。小学生のころに九州の島原の田舎でよく捕まえました。名前がナガサキが付いているだけに長崎にゆかりの蝶です。最初に発見されたのが長崎で、かの有名なオランダ人医師シーボルトが名付け親です。島原ではごく普通にいます。1950〜60年代この蝶の分布は、九州、四国、本州の山口、広島以西でした。暖かい処に住む蝶で、柑橘類を食草としています。昆虫の生息範囲はかなり限定されていて、台風などに襲ってたまたま飛んでくる迷蝶等以外見られる事はなく、発見されれば新発見として新聞などに載るぐらい珍しいです。

小・中学生の頃はもちろん遠くへは採集には行けませんが、北海道などは夢の夢。信州や東北等の北国の蝶や高山蝶がほしくてたまりませんでした。唯一手に入れる方法が文通で交換することで、その際に東京や東北の人などに人気の蝶が大型で迫力のあるこのナガサキアゲハでした。そんなナガサキアゲハが最近の地球温暖化で関東で見られるようになりました。

氷河期は僕のイメージでは、もっともっと寒くて氷付くようなイメージでしたが、実際は今より5度くらい低かったそうです。最近の温暖化は1950年頃には比べると年間平均気温が2度上昇したそうです。これは当時の鹿児島と東京が同じになったのと同じで大変な事なんです。昆虫でも温暖化の証の一端が伺えます。

北極や南極の氷が解けて、キribaなどの海面スレスレの国が波に浸食される。現実的な話だと思います。

世界のホテルを旅する (四十五)
元、旅行屋のお勧め
ウィーン・オーストリア
ホテル フリストル

旅行屋の時のメインの仕事が、アマチュアの音楽家達の海外の音楽祭への参加や、『自分たちのコンサートを開催する』という夢を実現させる旅が、主な仕事でした。1970年代ですら海外へ渡航する機会はまだまた少なく、ましてや自分たちの音階の練習の成果を披露するチャンスは殆どなかった頃ですからかなりユニークな旅行屋でした。そんな関係で、オーストリアのウィーンを訪れる機会は他の都市に比べると多かったと思います。

ウィーンを代表するホテルはなんといっても、インペリアルホテルと、このホテルフリストルでしょう。どういう訳かその二つに泊まる機会があったことはラッキー、というより不思議な気がします。音楽の都らしく、インペリアルホテルはウィーンフィルの本拠地のムジークフェライン(楽友協会)のまん前、このホテルフリストルはスタツツ・オ・パ(国立オペラ劇場)のまん前。立地が流石にウィーンだと思います。

このホテル フリストルは忘れられない思い出があります。それは旅行屋になって間も無い頃ですから、1971〜2年だったと思います。旅行のカウンターに会社されたお客様(ごつても品の良いご婦人)でした。『ウィーンのおペラ座で、航空券を手配してほしい』という依頼でした。1970年代時はいじめです。ヨロップまでの航空運賃は60万円以上だったと記憶しています。60万円といえは当時の僕の年収以上だったのでびっくりしました。

九州の島原から出てきた田舎の貧乏人にとって、60万円もかけてオペラを親にヨーロッパに行くことは想像の外の外でした。世の中にはこんな人もいます！



飛行機の予約が取れたので、ホテルも予約することになりました。その時予約したホテルがこのホテルフリストルで、オペラ座の前だから便利なのよ』とおっしゃったので、『ホテルフリストル』は僕の頭に深く刻まれ、『いつかウィーンに行く機会があったら絶対に訪ねなければならぬホテルになりました。』

幸いにもその3年後に自分が作ったツアーでウィーンを訪れることが出来、その時は超幸運にもオーストリアの迎賓館と言われるインペリアル ホテルに泊まりました。そして自由時間に一番に行ったのはもちろんこのホテルフリストルでした。ああ、あのお客様はここに泊まれたんだなあ。としみじみ思い出したホテルです。

ホテルフリストルに泊まる事が出来たのが78年でした。